



一般質問 その後を追跡!

Vol.18

2021年12月発行【発行・編集】鷹栖町議会

議員が行った一般質問が、町政にどう反映されているのか。これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡しました。



今回は2020年中の質問を追跡しています。この期間の定例会号は議会報178号～181号です。表紙のテーマは「学校行事」でした。議会報「ふい雀草」181号は北海道町村議会広報コンクールで特選を受賞しました。



この時期の
TOPICS

参加できる議会を目指し 一般質問の通信簿をはじめました

2020年3月から一般質問の概要などを記載した傍聴用資料を用意しはじめました。また、「通信簿」として、質問のテーマ設定や説得力などを傍聴者の方に評価してもらう試みをはじめました。



項目	1	2	3	4	5
●テーマの設定					
●聞き取りやすさ					
●説得力					
●波及力					
●共感度					



皆さまのご意見・ご感想をお待ちしています。

【連絡先】鷹栖町議会事務局
☎ 0166-74-3660
gikai@town.takasu.lg.jp



教育 郷土資料館を伴う複合施設の考えは？



2020年12月
斉藤 哲子議員

議会報181号に掲載



鷹栖町の文化と歴史を残す郷土資料館は、築60年が経過し老朽化が進んでいます。

旧たいせつ農協跡地に高齢者向け住宅と郷土資料館の複合施設として建設しては。

高齢者より農機具の使い方や昔の話を伝える事で、高齢者の生きがい創りにもなるのでは。

鷹栖市街地活性化と合わせ検討（町長）

資料のデータ化や出張資料館など、町の歴史に触れる新たな仕掛けに取り組むなど、既存の建物を活用し魅力の向上に努めます。

また、農協跡地を含む鷹栖市街地に必要な機能については、持続可能なまちの姿を住民と議論の上で整理を進めます。

追跡!

ワークショップの報告会実施 今後も意見交換を継続

鷹栖市街地の未来を考えるワークショップ（令和2年度実施）の成果報告会と、市街地活性化に向けた講演会が令和3年8月に開催されました。

今後も住民や関係団体との意見交換を行い、鷹栖市街地の活性化に向けた、基本構想・基本計画の策定を進める計画です。



質問に際し、委員会で調査も行いました

産業 コロナ対策支援金、第2弾は？



2020年12月
片山 兵衛議員

議会報181号に掲載



新型コロナ対策として令和2年5月に実行された事業継続緊急支援金に急場を救われた事業者は多いと思われます。先が見えない状況が続く中、支援金第2弾を実行する考えは。

支援金第2弾も検討（町長）

今後の動向に注視しながら、事業継続に関わる支援金も選択肢の一つとして幅広く検討していきたいと考えています。

追跡!

令和3年に支援金第2弾実施 さらに第3弾、受付中

令和3年度に新型コロナの影響で売り上げが減少している事業者へ最大50万円を支援する事業継続支援金第2弾が実施され、48件の申請がありました。

10月からは支援金第3弾となる事業継続支援金の申請が始まっています（申請は令和4年1月末まで）。

さまざまな支援も実施

その他、感染防止対策用の備品を整備するための支援なども実施しています。



教育 「個別最適化された教育」「GIGAスクール構想」



2020年3月
川原 允議員

議会報178号に掲載



ICT教育の子供の健康への影響について調査する考えは。

専門家などの意見聞き進める（教育長）

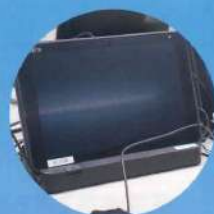
文科省が推進しているGIGAスクール構想を視野に入れ、仮称「情報教育検討会議」を設置します。

子供の健康への影響については専門家や有識者の意見を聞きながら進めていきます。

GIGAスクール構想とは

GIGAは Global and Innovation Gateway for All の略で、小学校の児童、中学校の生徒1人に1台PCと、全国の学校に高速大容量の通信ネットワークを整備し、多様な子供たちに最適化された創造性を育む教育を実現する構想のことです。

GIGAスクール構想に基づいたICT教育については、令和2年9月に片山議員がタブレットの持ち帰りについて教育長に質問、「慎重な検討が必要ですが、前向きに進めたい」との答弁がありました。



町内の小中学校でタブレットを活用した授業がはじまっています

追跡! タブレット学習スタート 健康への配慮も

1人1台町から貸与されたタブレットを活用した授業が令和3年度から始まりました。

タブレットは当面は学校のみで使用し、持ち帰りはシステムの構築や情報リテラシーに関する十分な指導を行った上で行う予定です。

オンライン学習の環境整備も進む

家庭学習に利用できる学習支援システムを導入。ネット環境が十分ではない家庭にWi-Fiルーターの貸し出しを行うなどオンライン家庭学習を行う環境は整っています。

またGIGAスクールサポーターを雇用し、スムーズな授業の支援をしています。

安全な使用のため家庭の協力が不可欠

子供が安全にタブレットを使用するために家庭の協力が不可欠です。

「タブレット型端末による学習ルール」を共有し、タブレットの管理や家庭学習への活用への協力をお願いしています。

健康への配慮として画面に顔を近づけ過ぎないことや、30分に一度、画面から目を離して遠くを見て目を休めるなどの注意をしています。

総務 勤勉手当の趣旨に基づいた運用を



2020年9月
姥 順一議員

議会報180号に掲載



①職員の勤務成績（成績率）に基づき支給される勤勉手当が、懲戒処分等を受けた職員も同率で支給されているのは手当の趣旨に反しているのでは。勤勉手当の趣旨に基づいた運用を。

②総務企画課総務係に法令担当職員の増員を。

12月の支給までに実施（町長）

①12月の支給までに実施します。

②増員はできませんが、道内や管内の法務研修などに参加させスキルアップを図っていく考えです。

追跡! 成績率運用規定が運用開始 総務係も1名増員

①「鷹栖町職員に関する勤勉手当の成績率運用規程」（令和2年11月1日規程第5号）が定められ、運用が開始されました。

■懲戒処分を受けた職員
停職処分 39/100以下
減給処分 49.5/100以下
戒告処分 60/100以下

■欠勤をした職員 60/100以上70.5/100以下
上記以外の職員は100/100の支給です。
このことは「鷹栖町例規集」で公開されています。

②令和3年4月1日付け人事異動により総務係が1名増員されました。

総務 行財政改革の取り組みは？



2020年12月
青野 敏議員

議会報181号に掲載



多様化する住民ニーズに的確に対応するため、行政コストの削減や住民との連携、職員体制や組織の見直しなど、事務事業の整理統合が必要では。

令和2年度中に改革プラン策定（町長）

事務事業や行政サービスのあり方については、所管課による内部評価を進めます。行財政改革推進委員会では、専門的で客観的な視点から指摘をいただいております。令和2年度中に行財政改革プランを策定します。

追跡! 行財政改革プランとアクションプランを策定

令和3年3月に、行財政改革推進委員会からの答申を踏まえ、「鷹栖町行財政改革プラン」「鷹栖町行財政改革プラン アクションプラン」を策定。期間を令和6年度までの4年間とし、3つの基本方針と8つの戦略を定め、行財政改革推進委員会の評価や提言をいただきながら、持続可能な行政基盤の確立に向けた改革に着手しています。

※鷹栖町行財政改革プランは鷹栖町ホームページからご覧いただけます。

（町政ガイド⇒町の計画⇒行財政情報⇒鷹栖町行財政改革プラン）